

人生の 仕舞い方



よりこ
武藤頼胡の

「終活、何からするの」ということで、前回の質問に対する回答の続きです。この女性も、一番にお葬式のことに関心を持ちました。私が主催し、講師を務め、開催した終活セミナーに来られたのは、2012年の冬でした。

「先日、母と一緒に近所の葬儀社のイベントに行きました。母は音楽葬を希望しています。音楽葬について教え

60代女性の終活②

愛した曲、音楽で弔う

てもらえますか」

「音楽葬」とはそもそもどういったお葬儀なのでしょう？ そんな疑問を解決し、お母さまに何かあったときには、希望をかなえてあげることができるよう一緒に学ぶことにしました。

音楽葬とは、一般に行われる仏式での読経やキリスト教



での賛美歌などの代わりに、故人が生前愛していた曲や関係の深い音楽を生演奏やテープで会場に流す、または仏式の儀式を行った後に、音楽を用いてのお別れをするというお葬儀の形をいいます。最近のことなので「形」があるわけではないのですが、音楽が中心になっているところが特徴です。

個人の葬儀に用いられる音楽は、生演奏のピアノや弦楽四重奏団、録音されたテープやCDなどを流したりします。団体葬になると中編成の管弦楽団、合唱団による献歌が行われたりします。

最近はこの葬儀社でもできるようになってきました。事前にしっかり葬儀社に尋ねるのが一番です。また、プロデュース力が問われるので、どんな形になるのか頭の中で映像が浮かぶような説明をしてくれる葬儀社が良いと思います。実績があるから細やかな説明ができるのです。このようなことを学んだ女性は、エンディングノートのお葬式の希望欄に「音楽葬」と書いていました。

（終活カウンセラー協会代表理事）
（今回は27日付）